**市政トピックス**

**●将来を担う子どもたちが大崎の今、夢、未来を語り合いました**

　　11月7日、「おおさき子どもサミット2018」を大崎市民会館で開催し、市の今、夢、未来について市内の小学生が話し合いを行いました。

　今回のサミットには、各小学校の代表児童約240人が参加。パネルディスカッションでは、富永・敷玉・古川第三・高倉小学校、ホスト校の古川第二小学校の各校から2人の児童計10人がパネリストを務め、各校で話し合ってきた大崎市のまちづくりへの提案を発表しました。

　パネリストからは、「大崎の魅力を走りながら多くの人に知ってもらう『復興マラソン』はどうか」「世界農業遺産に認定された大崎を、より多くの人に知ってもえるように『スタンプラリー専用のバスツアー』を行ってはどうか」など、今ある大崎の宝をどう生かすか、具体的な提案が活発に出されました。

　伊藤市長は「未来を担う子どもたちからの意見に、大崎には、夢や伸びしろがたくさんあることを再認識した。大崎の良さを発信していきたい」と話しました。

　サミットの内容は、1月4日に開催される「第11回宝の都（くに）・活性化貢献賞贈呈式並びに新春講演会」でも発表されます。

**●いきいき百歳体操が大ヒット中！体操と地域コミュニティで心も体も健康に！**

　　　11月6日、「平成30年度いきいき百歳体操大交流会」を田尻総合体育館で開催し、市内の高齢者の皆さんが健康について学び、体験しました。

　いきいき百歳体操は、地域住民など5人以上が集まって、衰えがちな筋肉を鍛える体操です。市では平成28年7月から普及事業を始め、健康と地域コミュニティづくりが話題を呼び、現在では100の団体1700人を超える市民が取り組んでいます。

　今年2回目となる大交流会では、日常生活に取り入れやすい健康法の紹介や、いきいき百歳体操の指導ＤＶＤに出演している理学療法士による体操解説が行われ、会場は参加者の健康生活への決意がみなぎっていました。

　適度な運動や栄養バランスが取れた食事など、健康を保つ秘訣はたくさんあります。その中でも、コミュニティづくりや趣味などで充実した生活環境は、高齢化社会の現代で、特に注目されてきています。

　心も体も健康になる活動に、皆さんも参加してみませんか。詳しくは、高齢介護課（6085）までお問い合わせください。

**●2018　11月の主な出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 2日 | ●鳴子峡大深沢橋ライトアップ検証セレモニー |
| 3日 | ●大崎市表彰式●第15回松山邑まつり |
| 4日 | ●大崎市市民文化祭総合開会式●三本木パークゴルフ場クラブハウス新築工事安全祈願祭 |
| 7日 | ●第12回おおさき子どもサミット2018 |
| 10日 | ●おおさき環境フェア2018●第217回鹿島台互市（～12日） |
| 14日 | ●姉妹都市東京都台東区新米贈呈式（台東区） |
| 19日 | ●株式会社七十七銀行との包括連携協定締結式 |
| 22日 | ●第2回みやぎ・大崎耕土『ささ王』決定戦2018●ディスカバー農山漁村（むら）の宝表彰式 |
| 23日 | ●第33回大崎バルーンフェスティバル（～25日） |
| 27日 | ●大崎市防災会議 |
| 29日 | ●平和作文コンクール表彰式 |
| 30日 | ●大崎市安全・安心まちづくり大会 |

**地域発　お・ら・ほ・の・ま・ち**

自分の住む地域を「おらほ」というと，親しみや愛着を感じませんか。

おらほの地域づくり，おらほの隠れた名所，おらほのおいしい特産品，おらほの伝統のまつり，おらほのイベント・・・。

そんな，愛してやまない「おらほの地域」を発信します。

**●華麗な技でファンを魅了**

　　11月11日、松山地域出身のプロレスラー、井上（）選手の凱旋試合が、松山B&G海洋センターで開催されました。

　会場には試合前から大勢のMAOファンが駆けつけて盛り上がりをみせていました。地元松山はもちろんのこと、県内外からも幅広い年代層の人たちが応援に来ていました。

　MAO選手の試合は、メインイベントとしてスペシャルタッグマッチ30分一本勝負で行われました。来場者は、白熱した試合展開に手に汗を握りながら熱い声援を送っていました。MAO選手は得意のアクロバティックで多彩な技を繰り出し、対戦相手を翻弄しました。

　試合は見事MAO選手のタッグが勝利し、会場全体で喜びを分かち合いました。試合後には、MAO選手から応援への感謝の気持ちが伝えられ、地元松山地域での、またの開催を約束してくれました。

**●大人も子どもも楽しめる！手作りコンサート**

　市内の小学生を対象にした、田尻文化センターの自主事業「みんなで『イベントをつくろう！』ワークショップ」が今年の7月から開催しています。文化施設の仕事を体験するワークショップで、市内の小学4年生～6年生9人が参加し、ポスターやチラシの作成、舞台照明、もぎり、アナウンスなどを学んでいます。最終目標は、12月24日に田尻文化センターで開催する「和太鼓とジャンベのコンサート」の企画などです（17ページ プレイガイドに掲載）。

　ワークショップ7回目の活動となる11月17日、自分たちがデザインしたオリジナルのチラシとポスターができあがりました。ワークショップの講師から、名刺交換やあいさつの仕方を教えてもらい、コンサートを告知してもらうため、チラシとポスターを持ち、市内の報道機関を訪問しました。コンサートの見どころを質問されると、「みんなで一緒に作り上げてきたコンサート。迫力があって、きれいな太鼓の音色が見どころです」とPRをしていました。

　子どもたちが一生懸命に準備を進めてきたコンサートを鑑賞しに、ぜひ足を運んでみませんか。